

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 11 月 01 日初校 16 年 2 月 4 日運営委)

小委員会名	情報設計小委員会	主 査 名：村上 晶子 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：西出 和彦
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・初年度：年次シンポジウム・見学会開催、RT研究会の開催 (10 回)、『行く見る測る考える』鹿島出版) 出版、『建築の予言』執筆準備・建築視察</p> <p>2 年度：年次シンポジウム開催、見学会、ラウンドテーブル (丸卓) 研開催 (10 回)、学会刊行物のフォロー、出版『建築の予言』執筆・建築視察</p> <p>3 年度：年次シンポジウム開催 (出張日本大学工学部)、見学会、丸卓研開催 (10 回)、委員会研究成果の対外発表、出版『建築の予言』執筆・建築視察</p> <p>4 年度：年次シンポジウム (拡大研究会) 『旧都城市民会館保存再生活用』開催、見学会、丸卓研開催 (10 回)、『建築の予言』本・運営委員会査読、小委員会内相互査読</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：あり</p> <p>村上晶子(明星大学) 湯本長伯(日本大学) 玉井洋(鹿島建設) 伊東正示(シタワークショップ) 伊藤雅春(愛知学泉大学) 遠藤勝勸(同設計室) 笠井香澄(竹中工務店) 加茂紀和子(みかんぐみ) 広田直行(日本大学) 松本文夫(東京大学) 連健夫(同建築研究室) 山岡嘉彌(山岡デザイン事務所)、松本正富(京都橋大学)、山本想太郎(同アトリエ) 米田正彦(アトリエフォーラム)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>建築の予言刊行 WG 日本建築学会賞受賞作品についての見学会を開催し、プログラム論へ展開する。その成果を『建築の予言』(鹿島出版) として刊行する。 (年 10 回程度開催)</p>	
2014 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： <a href="http://www.arch.ce.nihon-u.ac.jp/~yumoto/infoD/">http://www.arch.ce.nihon-u.ac.jp/~yumoto/infoD/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	18 回 (年度内計画を含む) (委員会+WG)
刊行物 (シンボ資料等は除く)	2016 年『建築の予言』刊行予定 (2016 年 5 月)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 委員会活動の活発性は 100% の達成度</p> <p>2. 学会シンポジウム企画は、15 年度は開催出来なかった (拡大委員会を実施)</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 刊行計画は慎重に進めたため予定より遅れたが、16 年 5 月刊行予定</p> <p>2. 委員の出席は平均で 13~15 名で、極めて活発である</p> <p>3. 一般社会向けの研究成果公開であるシンポジウム・講習会には大きな意義があるが、労力も大きく開催が難しい。しかし波及効果も大きいので、今後に関連事業推進WGをつくることで出来るだけ進めて行きたい。</p>

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\* 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。